

明姫幹線南地区まちづくりだより

第2号 / 2000.12.19

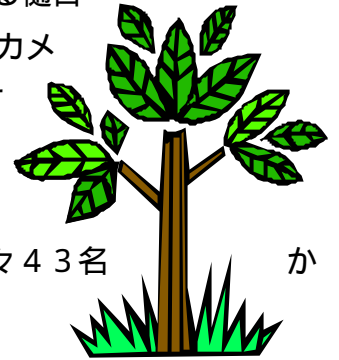
発行 明姫幹線幹線南地区まちづくりを考える会
事務局 高砂市役所都市整備部計画課

住民懇談会開かれる！！

心せわしい年の暮れ、皆様方にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、11月3日から11月12日にかけて4つの会場にて住民懇談会を開催しましたところ、合計85人の方が参加されました。皆様方にはご多忙の所、ありがとうございました。

懇談会では、世話人代表の挨拶の後、まちづくりのご指導をいただいている樋口先生と市から経過報告と当日の趣旨説明があり、その後、地図とポラロイドカメラを持って実際に地区を歩いてみました。会場に帰ってからは、地図を広げて写真を貼って、この地区の良い所、悪いと思う所など意見を出し合いました。各地区毎の概要は、次頁以下に掲載しておりますが、紙面の都合上全てのご意見を掲載できないことはご容赦ください。また、当日参加できなかった方々43名からも「ご意見」をいただきました。



主な意見

良いところ・大切にしていきたいところとしては、「田園風景のある緑の豊かさ」「圃場整備による整った道路」「鹿島川沿岸の桜並木」「子供が自然とふれあえる環境」等が挙げられましたが、一方で「良いところはない」という意見も多くありました。

問題点・改善が必要なところとしては、「農地、資材置場、住宅の混在や違法建築」という意見が多く、中には、資材置き場という名目で操業している作業所の騒音・振動に20年以上苦しみ続けているという、痛切な意見も出されました。

まちの将来像については、全体的なイメージとしては、「なるべく緑を残し、資材置場等のない静かな田んぼと住宅地の地区にしたい」「中・低層を中心とする住宅地になってほしい」など「緑豊かな美しいまち、田園都市」といったイメージを希望する意見が多く出されました。

まちづくりの進め方・手法などについて、今回のような住民参加の話し合いについては、「話し合いを行っていくのは良いことだと思う」と感じられた反面、「市からたたき台となる図面等何らかの方向性を示してもらいたい」「市街化区域に編入するための条件を説明してほし

各地区の懇談会の報告

A地区 (伊保中部 伊保東部) 11月3日(金)祝 伊保幼稚園 参加者36名

- ・現状のままで市街化したい。減歩があるのは反対。新幹線の南側はなにもしないで市街化区域に入っている。これから市街化区域に入ろうとする当地区にのみ減歩が発生することは納得できない。
- ・高圧線下はあと8年で契約更新となるが、線下を公園や緑道にしたらどうか。
- ・宅地化に向けた土地区画整理事業はすべきでない。
- ・現状に満足しており、市街化調整区域のままでいい。
- ・税金の問題、相続税の関連から現状のままにしておきたい。
- ・住宅地になったらいいと思うが、果たして売れるか、借り手がいるか、と言うことを考えると悩んでいる。
- ・道路はある程度地元で負担しても、公園は市がつくるべき。
- ・現況について：資材置き場としての利用方法で、マナーの悪さが問題である。
- ・新幹線高架下でたむろしている若者？がいる。地域内に公園等をつくっても、たむろ場所になるだけではないか。
- ・住民参加といっても、全く何の条件もなければ、何をすれば良いかわからない。



B地区 (伊保西部 中筋東) 11月12日(日) 竜山中学校 参加者20名

- ・中学校の近くに「ドラテレ」があり、大いに問題である。好ましくない施設の規制が不十分である。
- ・当面は農業を継続したいが、将来は解らない。減反や跡継ぎ問題から、将来的には適切なまちづくりが必要。
- ・点在する資材置場を集約してはどうか。
- ・中学校を中心に、“文教ゾーン”を設定し、病院や図書館などの文化施設、公共施設を整備していければと思う。
- ・市街化を進めていきたい。道路が荒れるなど様々な苦情が自治会長に寄せられてくる。市街化に向けた整備を行っていく中で、様々な苦情や土地利用の問題を解決していきたい。
- ・出席率が悪いのが当町の最大の課題で、隣近所を誘うべきである。また、若い人、息子さんや娘さんの意見も採り入れていくべきである。
- ・現状に満足しており、市街化調整区域のままでいい。
- ・せっかく100haもあるのに、市のビジョン不足ではないか。シビックセンター等を希望する。
- ・新幹線の南に住んでいるが、車の2台も止められない。このようなまちでは困る。
- ・資材置場の持ち主が、他所の人(地域に関係ない人)に移ってしまっていることが、問題を大きくしているように思う。



C地区 (中筋西) 11月 4日(土)午前 中筋西公会堂 参加者 9名

- ・ 資材置場に貸している中には、生活がかかっている場合も多く、このままでも仕方ないのではないか。
- ・ 農地の転用や土地の売却が進んでいく中で、住民や地権者の意思統一を図っていくことは難しいのではないかと。
- ・ 地域環境としての田んぼに愛着があるが、保有米だけ生産しているのでは意味がなく、仕事もしんどい。人に貸して米を買う方が楽である。レンコン畑も姫路の方の業者に貸しているが、固定資産税分ぐらいにしかならない。
- ・ 姫路バイパスや国道の騒音が雨の日とか少し離れたところでひどい。
- ・ 交差点に隅切りがない。
- ・ 住宅と農地の混在は環境が良いとも言えるが、虫が多いなどの問題点もある。
- ・ まちの問題点や将来像については、これまで何も考えたことがなく、急には考えにくい。住宅地としてのまちづくり、工場地として、公共施設の誘致など色々なケースの図を示してもらえれば、意見も言いやすい。
- ・ 大勢ではなかなか意見がまとまりにくいので、自治会長や農会長などに他地区の方ともよく話し合っ進めていってほしい。



C地区 (曾根町) 11月 4日(土)午後 曾根北之丁自治会館 参加者 20名

- ・ 水田は雨水を蓄える役割があり、宅地化すると浸水するのではないかと心配である。
- ・ 広い田んぼと住宅のある風景、竜山への見通しなどが好きであるが、どんどん崩れてきれいな景色は残せなくなった。
- ・ 地区中央の道路は大型車の通行も多く危険である。要は東西方向の道路が一本しかないのが問題。
- ・ 近年、生活用水が溝に流れ水が汚れ、においもするようになった。
- ・ 資材置場や工場等の集約と制限を行うための条例を制定してはどうか。
- ・ 水路のなかのゴミ・空き缶が目立つ(国道沿い)
- ・ 素堀の側溝は自然があり、子供が自然観察やザリガニ取りなどができて良いと思う。
- ・ 宮前のような狭くくねくねした道ばかりのまちにはしたくない。
- ・ 資材置き場や工場ができており火災などが心配である。
- ・ 駐車場が広くとれる住宅地にして欲しい。
- ・ これからは田んぼで働いているときもボケっとしていないでまちの将来を色々考えていきましょう。



参加されなかった人で「ご意見」を寄せられた方の意見(43枚の提出がありました)

- ・多くの人が散歩やジョギングに利用している。
- ・各人がいくらかずつ土地を拠出して、完成したとき「いい町」になる方が良い。
- ・何のための市街化か？よその人の住む所を作る必要ない。新旧住民の間でトラブル多発している。
- ・宅地開発業者によるミニ開発、マンション開発はごめん被りたい。
- ・まちづくりを考える会、そして組合設立して工事完了まで役員の方々の苦勞は計り知れない。もっと行政が本腰を入れて取り組んでもらわないと実現が？
- ・市街化区域になれば税金も上がり、市も潤うから市が主体となって減歩分を買い上げ、早く市街化に編入するべきだ。
- ・市の政策としては、土地所有者から市街化案が出てくるように持っていこうとしていると、今までの話し合いから感じられる。土地所有者に全ての負担を負わせるのではなく、市側はここまで協力が出来ますよという線を提示すべき。

竜山中学校 尾池教頭先生の感想

～ 11月12日の懇談会に参加していただきました

現在中学校周辺には、街灯や施設等も少なく、良い環境とは言い難いです。また、総合学習として福祉・環境をテーマに、色々な地域学習の取り組みを始めたところであり、今回のような地域の人々の取り組みについても生徒たちに伝え、生徒たちと「ふるさとづくり」を考えていきたいと思えます。今後、生徒のフィールドワークとして参考にさせていただきます。

懇談会の感想より

現状（現地事情）を充分理解し合う事は、今後の話し合い或いは理解を深める上に参考となり、事業推進に役立ったと思います。現状理解を深め、地権者の意見統一と事業の早期着工を願うものです。今回の企画は、意義深いものと推察し

発行：明姫幹線南地区まちづくりを考える会

事務局：高砂市都市整備部計画課 TEL：0794-43-9033

FAX：0794-43-9091

e-mail:tact3810@city.takasago.hyogo.jp